【別紙1】 多文化共生農家 認証チェックシート

農園・法人名		代表者	
確認日		確認者	
所在地		外国人農業従事者人数	

判定：○＝適切に実施　△＝一部改善が必要だが、取組又は具体的な改善の意思・計画あり　－＝現時点では十分に実施していない。大項目欄の□は、ガイドラインの判定方法に基づきチェックする。

区分	具体的な確認事項			判定	確認内容・改善事項
はたらく（0番～五番）	**0** □	外国人農業従事者を適法に雇用・受入れしているか？【必須】			
		①	最低賃金以上で、同じ労働をしている日本人と同等以上の賃金を保証している。	○ △ －	
		②	労働基準法に従った労働時間を遵守し、休憩時間を確保している。適切な休日を保証している。やむなく残業した場合、適正な残業手当が支払われている。適正な勤怠管理を行っている。	○ △ －	
		③	法律上許可されている範囲（在留資格、人数など）の外国人農業従事者を雇用・受入れしている。	○ △ －	
		④	公的保険（労働保険、健康保険等）に適切に加入している。	○ △ －	
		⑤	在留資格「特定技能1号」の外国人農業従事者を受け入れている場合、必要な届出・支援・地方公共団体との連携等を行っている。	○ △ －	
	1 □	外国人農業従事者の権利を尊重しているか？			
		①	日本人・外国人が共に参加して、生活水準を向上するための定期的な話し合いを行っている。	○ △ －	
	2 □	安全管理・指導が適切に行われているか？			
		①	安全靴、帽子、手袋など必需品を提供している。	○ △ －	
		②	農薬防御、水分補給など、作業中の健康に配慮している。	○ △ －	
		③	機械や薬品などの使用に関して適切な指導を行っている。	○ △ －	
		④	労働災害などに備え、必要に応じて民間の任意保険に加入している。	○ △ －	
	3 □	就労上必要な資格を取得するための支援教育を提供しているか？			
		①	農業全般に関する知識を得る研修を行っている。	○ △ －	
		②	就労上必要となる資格取得を支援している。	○ △ －	

区分	具体的な確認事項			判定	確認内容・改善事項
		③	在留資格「特定技能」を満たす技能検定合格に向けた支援をしている。	○ △ ー	
	4 □	作業場への交通手段を提供し、必要な経費を負担している。			
		①	作業場への交通手段と経費を提供している。（自転車の場合、電動アシスト車を推奨）	○ △ ー	
		②	適切な自転車保険に入っている。	○ △ ー	
		③	地元警察と連携して、年1回程度の交通安全講習を行っている。	○ △ ー	
	5 □	外国人農業従事者が産品の販売先（ルート）や価格に関する情報を知っているか？			
くらす（六番～十番）	**6** □	適切な居住（部屋、家電など）が確保されているか？			
		①	一人一部屋を推奨（寝室の広さ4.5平方メートル以上）。	○ △ ー	
		②	外国人農業従事者本人が家賃を負担する場合、相場を超えない実費相当であること。	○ △ ー	
	7 □	快適な通信環境（**Wi-Fi**、あるいは**SIM**カード）が提供されているか？			
	8 □	適切な健康管理を行い、必要な支援をしているか？			
		①	来日前に健康状況の確認をした。	○ △ ー	
		②	来日直後に健康診断を行った。	○ △ ー	
		③	年1回以上の健康診断を行っている。	○ △ ー	
		④	体調を崩した時、病院受診・入院のサポートをしている。	○ △ ー	
		⑤	必要に合わせてメンタルヘルスケア（相談）をしている。	○ △ ー	
	9 □	地域の生活ルールを説明・案内しているか？			
		①	来日時に生活ルールに関するガイダンスをした。（地元自治会と連携し、また、多言語資料を準備したり、通訳を入れたりすることを推奨）	○ △ ー	
		②	回覧板や地図などの地域情報を外国人農業従事者が理解できるように提供している。（多言語ややさしい日本語での情報提供を推奨）	○ △ ー	
	10 □	災害・防災対応をしているか？			
		①	防災グッズを提供している。	○ △ ー	
		②	理解できる言葉でハザードマップを提供している。	○ △ ー	
		③	年1回以上の作業場での防災・避難訓練を実施している。	○ △ ー	

区分	具体的な確認事項			判定	確認内容・改善事項
		④	地域の防災・避難訓練に参加している。	○ △ ー	
つながる・まなぶ（十一番～十五番）	11 □	外国人農業従事者との信頼関係を築いているか？			
		①	外国人農業従事者の家族と面談した。	○ △ ー	
		②	外国人農業従事者の誕生日を祝っている。	○ △ ー	
		③	月1回程度の食事会を開催している。	○ △ ー	
		④	年1回以上、交流を目的とした旅行や行事を行っている。	○ △ ー	
	12 □	地域での交流に参加しているか？（地域とのつながり・信頼関係づくり）			
		①	夏祭り、清掃活動など地域催事に参加している。	○ △ ー	
		②	フェアトレードマルシェに参加している。	○ △ ー	
	13 □	消防団など地域の担い手となって活動しているか？			
	14 □	日本語教育を提供しているか？（①～③のうち**1**項目以上が○で可）			
		①	勤務時間内に日本語学習の時間を提供している。	○ △ ー	
		②	オンライン日本語教育の情報を提供している。（オンデマンドを含む、経費負担を推奨）	○ △ ー	
		③	地域の日本語教室への参加をサポートしている。	○ △ ー	
	15 □	日本人スタッフ（管理者、労働者）へ多文化共生に関する啓発をしているか？			
		①	異文化理解、外国人の人権、在留資格や多言語を学ぶ機会を提供している。	○ △ ー	
		②	外国人農業従事者と一緒に地域交流に参加している。	○ △ ー	
つくる（０番、十六～二十二番）	0 □	品質上問題ない規格外産品を廃棄せず、活用しているか？（食品ロス削減への貢献）【必須】			
	16 □	遺伝子組換え農産物を栽培していないか？			
	17 □	農薬不使用、あるいは必要最低限にしか使用せず、過多投与が行われないよう、その履歴を正確に記録しているか？			
	18 □	土壌の肥沃性を損ない、地下水汚染にもつながる化学肥料の使用を減らし、過多投与が行われないよう、その履歴を正確に記録しているか？			
	19 □	人体や生態系への悪影響をもたらす除草剤は最小限しか使用せず、できるだけ手作業で除草を行っているか？			
	20 □	病虫害の発生を抑制し、節水効果がある点滴栽培等の効率的な農法を実施しているか？			
	21 □	土壌の微生物活動を活性化させ、土地を肥沃にする堆肥や有機質肥料を利用しているか？			

区分	具体的な確認事項		判定	確認内容・改善事項
	22 □	農作物の生育を助け、病虫害を予防するために、田畑周辺の排水口の清掃を定期的に実施しているか？		

■ 初回認証判定欄

確認項目	結果
必須A（はたらく0）	□ 達成　□ 要確認
必須B（つくる0）	□ 達成　□ 要確認
はたらく（大項目1～5）	達成数:　　項目（1項目以上）
くらす（大項目6～10）	達成数:　　項目（1項目以上）
つながる・まなぶ（大項目11～15）	達成数:　　項目（1項目以上）
つくる（大項目16～22）	達成数:　　項目（1項目以上）
初回認証要件	□ 充足　□ 再確認が必要